1. 調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の原産国別の輸入量、購

入量、国内販売量、自家消費量及び在庫に関する情報等

|  |
| --- |
| * 本調査項目は、貴社及び貴社の関連企業が輸入又は購入した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の原産国別の輸入量、購入量、国内販売量、自家消費量及び在庫に関する情報を求めるものです。 * 調査対象期間は、特に記載のない限り、令和2年（2020年）1月1日から令和7年（2025年）6月30日までです。 * 回答欄は必要に応じて拡大してください。 * 調査対象期間中において、下記項目について変遷があれば、その内容について時系列で詳細に回答してください。 * 本調査項目の回答に対する政府の検証に正確を期すため、各質問の回答を作成する上で用いた資料及びその根拠となる書類の写しを、添付資料として提出してください（日本語訳を添付）。また、その添付資料名等を質問状に添付された「（別添）添付資料一覧表」に記入し提出してください。なお、添付資料には、必ず右肩に質問項目番号を明記し、同一質問項目番号に関する資料が複数に及ぶ場合は、書類の上部中央に根拠資料の連番を記載してください。どの質問項目に対する回答に係る根拠資料であるか明示されていない場合、提出したことが認識されない場合があります。 * 原則として、液体品に係る数量については、実数量に水酸化カリウムの濃度を乗じて算出した数量（以下「固形換算数量」という。）を記載してください。 * 回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。 |

* 1. 輸入及び販売等の状況
     1. 輸入及び販売等の状況

調査対象期間の貴社及び貴社の関連企業における調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の輸入及び販売等の状況について、以下の２．（１）から４．（３）までの項目を記入要領に従って**様式B-1**に回答してください。なお、回答に当たっては、以下の①から⑦に留意してください。

1. 調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の輸入・販売等を行う貴社の関連企業（「不当廉売関税の課税期間の延長に関する調査への協力のお願い」【資料１】用語の定義（４）を参照してください）がある場合は、貴社単独の回答及び貴社の関連企業のデータも含めた企業グループとしての回答の二種類を作成してください。なお、企業グループについて回答する際は、下記記入要領の「貴社」を「企業グループ」に読み替えてください。
2. 複数の品種の水酸化カリウムを扱っていた場合は、全ての品種を合算して回答してください。
3. 数量に関して、**様式B-1**は固形換算数量で回答してください。
4. 「２．（２）輸入量及び３．（２）輸入額」のうち「調査対象貨物」については、「調査項目D」の固形換算数量の回答と数値の整合を持たせてください。
5. 「２．（５）国内販売量及び３．（５）－２国内販売額」については、**様式C-1**における同一期間の「（１）販売数量（固形換算数量）」及び「（２）販売金額税抜」の合計と合致するように記入してください。金額は、原価ではなく販売価格を税抜きで記入してください。
6. 金額については、最終的に確定した額を税抜きで記入してください。
7. 各項目において実績や回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。

| 項目 | | 記入要領 |
| --- | --- | --- |
| ２．（１）  ３．（１） | 生産量  生産額 | 貴社が、本邦産同種の貨物を生産していた場合、その数量及び金額を回答してください。なお、金額は原価で記入してください。 |
| ２．（２）  ３．（２） | 輸入量  輸入額 | 貴社が、調査対象貨物及び第三国産同種の貨物のいずれかを輸入していた場合、その数量及び金額を回答してください。 |
| ２．（３）  ３．（３） | 購入量  購入額 | 貴社が、調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物のいずれかを、本邦において他社から購入（輸入ではなく、国内で調達）していた場合（輸入商社等を経由して行った調達を含む）、その数量及び金額を回答してください。 |
| ２．（４）  ３．（４） | 自家消費量  自家消費額 | 貴社が、調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物のいずれかを自家消費（貴社内において二次製品の原材料として使用及び一般市場に参入しない特殊価格で販売（例えば二次製品の原材料として関係会社等に向けて販売））していた場合、その数量及び金額を回答してください。なお、自家消費を原価以外で回答した場合、その計上方法を自家消費額の項目欄の（　）内に回答してください（記載例：原価に△％利益を乗せた等。） |
| ２．（５）  ３．（５） | 国内販売量  国内販売原価  国内販売額 | 貴社が、調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物を国内向けに販売していた場合、その数量及び金額及び国内販売原価について、国内の関連企業向けと非関連企業向けを区別して回答してください。 |
| ２．（６）  ３．（６） | 輸出量  輸出原価  輸出額 | 貴社が、調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物のいずれかを輸出していた場合、その数量、金額及び輸出原価について回答してください。返品等を差し引いたネットの数量及び金額としてください。 |
| ２．（７）  ３．（７） | 期首・期末在庫量  期首・期末在庫額 | 貴社が生産した本邦産同種の貨物、輸入した調査対象貨物及び第三国産同種の貨物並びに購入した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物について、令和元（2019）年末の期末在庫及び調査対象期間の各期首・期末在庫の数量及び金額を回答してください。 |
| ４．（１） | 数量差異 | ２．（８）及び／又は３．（８）が「0」以外の場合、その発生要因を具体的に説明してください。 |
| ４．（２） | 増減の要因 | 生産、販売、在庫等に係る事項に大幅な変動があった場合には、当該変動をもたらした要因及びその影響を具体的に説明してください。 |
| ４．（３） | 経営活動又は組織の変更 | 調査対象期間中における調査対象貨物、第三国産同種の貨物又は本邦産同種の貨物の輸入又は購入に関し、貴社の経営活動又は組織を変更した場合には、その時期、変更内容（例えば、工場規模の拡大、縮小又は休止）及び変更の目的（例えば、合理化の促進等）を説明してください。  また、当該変更を示す証拠（事業計画書等）を**添付資料B-1-1-(10)**として提出してください。 |

* + 1. 輸入及び販売等の状況に関する資料

**様式B-1**に回答した各数値について、貴社の基幹システム等を含むデータの出所及び算出方法（按分している場合は具体的な方法を含む）を、以下を参考に作成して、**添付資料B-1-2**として提出してください。

* データ出所の例：●●システムから出力した原価計算表の記載による。
* 算出方法の例：原価計算表から毎月の●●の数量を求め、年間合計量を算出した。
  1. 課税期間満了後の輸入、購入及び販売の計画

現在、調査対象貨物に賦課されている不当廉売関税の課税期間が満了した場合、今後の貴社における調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の輸入、購入及び販売の計画について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

* 1. 調査対象貨物及び同種の貨物の代用品の変化の見込み
     1. 代用品の変化の見込みの有無

調査対象貨物及び同種の貨物と同じ目的で使用することのできるもの（代用品）について、将来的に何らかの変化が生じるという見込みを有していますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

* + 1. 代用品の変化の見込みの内容

上記B-3-1において、「有」と回答した場合には、その見込まれている時期、内容及び理由について説明してください。また、可能な限り、当該変化による水酸化カリウムの輸入又は購入した量及び価格等への影響について説明してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 | 輸入又は購入した量及び価格等に対する影響 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |